



NO！交通労働災害



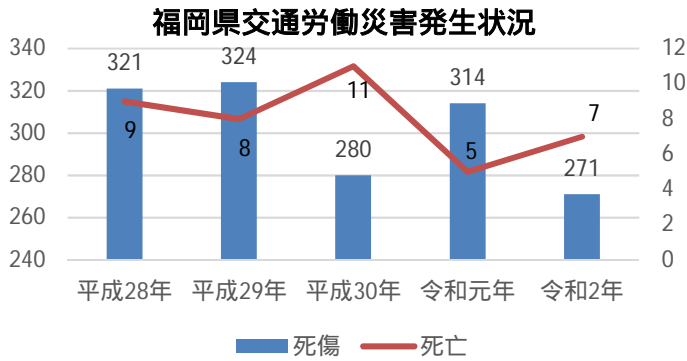
知っておきたい交通労働災害の特徴と対策について

令和2年に福岡県内で発生した交通労働災害を分析したところ、以下の特徴が確認できました。これを踏まえ、各事業場様の特徴に応じた交通労働災害防止対策の積極的な取り組みが求められます。

特徴 1

交通労働災害発生件数は、高止まりの状態！

福岡県の交通労働死傷災害は令和2年で271人(前年比 - 43人)。交通労働死亡災害は7人(前年比 + 2人)です。



特徴 2

交通労働災害は、早朝から夕方まで多く発生！

交通労働災害は、10時から1時間、15時から1時間が特に多く発生しています。早朝の時間帯も多いので注意が必要。



特徴 3

業種別では商業が最も多く発生！

・商業が全産業交通労働災害の3割強を占めます。運輸交通業は交通事故の2割強を占めます。

特徴 4

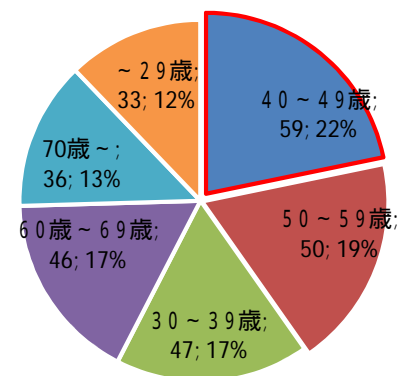
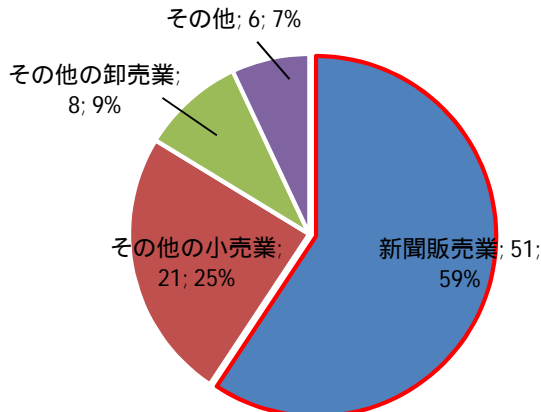
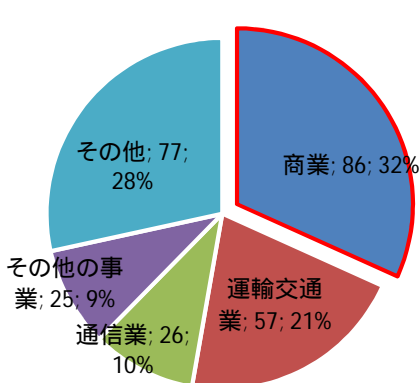
商業の中では、新聞販売業が最も多く発生！

商業の中の約6割が新聞販売業です。

特徴 5

交通労働災害はどの世代でも多く発生！

交通労働災害は、40歳代が最も多く、50歳以上では全体の約半分を占めます。



交通労働災害の発生を未然に防止するためには、自動車・バイク・原動機付自転車の運転業務に労働者を従事させるすべての事業者及び労働者の皆様の「交通労働災害防止のためのガイドライン等」に基づく以下の内容の積極的な取り組みが必要です。

交通労働災害防止対策《交通労働災害防止のためのガイドライン抜粋》

交通労働災害防止に関する管理者を選任し、役割・責任・権限を定めましょう。
目標を設定し、目標を達成するため、労働時間の管理・教育を含む安全衛生計画を作成しましょう。
改善基準を守り、適正な計画によって運転者の十分な睡眠時間等の確保に配慮した労働時間管理をしましょう
走行の開始・終了や経路、走行時に注意を要する箇所の位置等について計画を作成しましょう。
雇入れ教育(法定教育)、日常の教育、交通危険予知訓練(教材公表)を実施しましょう。
ポスターの掲示、表彰制度、災害防止大会を開催し、運転者の意識の高揚を図りましょう。
交通ヒヤリマップを作成し、活用しましょう。
作業の合間は、ストレッチなど運転時の疲労回復・腰痛防止に努めましょう。

中高年齢自動車運転者交通労働災害防止対策《交通労働災害防止のためのガイドライン抜粋》

高齢労働者の労働災害が多い要因に、加齢に伴う身体・精神機能の低下などがあります。高齢労働者の健康や体力の状況を踏まえた積極的な労働災害防止対策を取り組みましょう。

中高年齢自動車運転者は、睡眠不足の傾向があるので、改善基準を守るだけでなく、長時間運転にならないように配慮しましょう。
走行計画に変更を行う必要が生じた場合は、中高年齢自動車運転者の睡眠は不足がちであることに配慮して対応するようにしましょう。
異常気象時には運転のリスクが高まることから、走行中止を含めた適正な指示をできるだけ早い時期に行いましょう。
自動ブレーキ、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等の先進安全技術を搭載した車両を導入しましょう。

自転車・原動機付自転車の交通労働災害防止対策

配達中に交通事故に遭ったり、歩行人に危険を及ぼさないよう、常に事故防止に努めましょう！

信号順守と交差点での一時停止・安全確認を徹底しましょう。
電話対応時は必ず駐輪場等の安全な場所に停車して対応しましょう。(スマホのながら運転禁止)
左側通行を遵守しましょう！
運転する際は、必ずヘルメットをかぶりあごひももきちんとはめてください。
早朝の時間帯(単独事故が多い)から夕方時間帯(接触事故が多い)に事故が多発しています。常に周囲に気を配り安全運転をしましょう。



高齢労働者の安全と健康確保のためのチェックリスト



交通労働災害防止対策

